

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
数学	数学 I	2	1	C. D	必修	高校数学 I (実教出版)

### 1. 学習の到達目標

数学 I は数と式、二次関数及び三角比、集合と論証、データの分析によって構成されています。この各分野を学習することで、数学の基礎的な知識を身につけ、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにすることが目標です。

### 2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	見方・考え方	表現・処理	知識・理解
評価の規準	学習内容における数学的な考え方に関心を持ち、知識の習得に意欲的に取り組むとともに実際に活用する態度を身につけている。	身近な事象を数学の問題としてとらえ、的確に表現することができる。	文字の置き換えや式の変形など事象を適切に考察し、公式などを利用して問題を的確に処理することができる。	各分野における基本的な用語・法則などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
評価の方法	授業態度、学習の取り組み状況、計算テスト、定期考査などを総合的に判断して評価します。			

### 3. 教科からのメッセージ

中学校までに学んできた数学の内容を学び直しながら、徐々に高校数学の内容を学習します。社会生活を送る上で必要な数学的な考え方、知識をしっかりと身につけ、活用する能力を磨いてください。

#### 4. 年間指導計画

単 元	項 目	学 習 内 容	実施日
第1章 数と式			
整式	整式について 整式の加・減・乗法	文字式について理解する。 整式の用語を覚える。 指数法則や分配法則を使い、計算ができる。	4月～ 6月
実数	整式の展開 因数分解	乗法の公式を使って展開する。 因数分解の意味と変形の仕方を理解する。	
	実数について 平方根の計算	数の体系、平方根の意味について理解する。 計算方法に従って、加減乗法ができる。 分母の有理化ができる。	
方程式	方程式について 1次方程式	1次方程式の解法を理解する。 実数に関する性質や平方根の性質を知る。	7月～ 9月
不等式	不等式について 1次不等式	不等式の表し方を知る。 1次不等式の解法を理解する。	
第2章 二次関数			
関数とグラフ	1次関数とその グラフ	関数について理解する	10月～ 12月
	2次関数とその グラフ	1次関数、2次関数のグラフを理解する	
2次関数の 値の変化	2次関数の最大 値・最小値 2次不等式	2次関数の最大値・最小値の求め方を 理解する。 2次不等式の解き方を理解する	1月～ 3月
第3章 三角比			2年次
第4章 集合と論証			2年次
第5章 データの分析			2年次